

## 目 次

### 〔原 著〕

- |  |                                      |                |           |
|--|--------------------------------------|----------------|-----------|
| 1. 分離の良い Alkaline phosphatase isoenzyme の微量蛍光定量法 | 北里大・薬・薬品分析学<br>慶大・医・附属病院<br>中 検・臨床化学 | 村山 和代<br>菅野 剛史 | .....(57) |
| 2. 癌性アルカリフォスファターゼアイソザイムの電気泳動法の研究                 | 阪大・医・第1内科                            | 益沢 学           | .....(61) |

### 〔パネルディスカッション〕 電気泳動と免疫反応を応用した臨床検査

- |                             |                           |               |           |
|-----------------------------|---------------------------|---------------|-----------|
| 司会者のことば                     | 東京慈恵医大・第3内科<br>自治医大・臨床病理学 | 阿部 正和<br>河合 忠 | .....(67) |
| 1. $\alpha$ -フェトプロテイン       | 北大・医・第1生化学                | 西 信三          | .....(69) |
| 2. Hepatitis B 抗原           | 自治医大・予防生態学<br>都臨床医学総合研    | 真弓 忠          | .....(73) |
| 3. IgE レベル, IgE 抗体価の測定とその意義 | 東大・医・物療内科                 | 伊藤 幸治         | .....(75) |
| 4. 補体蛋白                     | 大阪府立成人病センター               | 平松 誠一         | .....(83) |

### 〔第27回電気泳動学会総会講演抄録〕

- |  |                                       |   |           |
|--|---------------------------------------|---|-----------|
| 1. 冠動脈疾患及び慢性腎不全例における低比重リポ蛋白質の研究<br>—PAG 電気泳動法及び超遠心分離・分析法による—       | 山口大・医・第2内科                            | 和田 光夫・南園 忠<br>岡部 光久・半田 洋治<br>赤松 明・鶴木 哲秀<br>三瀬 淳一                          | .....(89) |
| 2. 慢性腎不全における血清リポ蛋白質異常<br>—とくに血清リポ蛋白質脂肪酸構成の面から—                     | 山口大・医・第2内科                            | 半田 洋治・南園 忠<br>赤松 明・岡部 光久<br>鶴木 哲秀・和田 光夫<br>三瀬 淳一                          | .....(90) |
| 3. 高密度中間帯リポ蛋白質 (HD-midband LP) に関する研究, 第2報                         | 恵愛会・柳井病院                              | 中岡 清人・辻 治憲<br>平川 信男・横山 英一<br>中岡 秀男  | .....(91) |
| 4. 各種高リポ蛋白質血症の超遠心分析法, ポリアクリルアミドゲル電気泳動法による研究<br>—Midband LP を中心として— | 山口大・医・第2内科                            | 和田 光夫・岡部 光久<br>南園 忠・赤松 明<br>半田 洋治・鶴木 哲秀<br>森田 高生・三瀬 淳一                    | .....(92) |
| 5. 各種支持体における $\beta$ , pre- $\beta$ リポ蛋白質の中間帯の比較検討                 | 駿河台日大病院・検査科<br>日大・医・臨床病理学             | 荒木 妙子・西岡真知子<br>小沢 憲治・佐藤 和身<br>中野 栄二・河野 均也<br>土屋 俊夫                        | .....(93) |
| 6. ヒト血清蛋白分画について, 第2報   | 緒方医学化学研<br>都赤十字血液センター<br>金沢大・がん研・分子免疫 | 井上 太助・広橋 憲<br>相河 和夫<br>右田 俊介  | .....(94) |
| 7. 病態の微量電気泳動法による動的解析法の検討   | 富山大・和漢薬研・病態生化学<br>阪大・医・附属病院・中検        | 荻田 善一<br>山村 研一  | .....(95) |
| 8. Macrophage electrophoretic mobility test に関する研究                 | 東京慈恵医大・第3内科<br>同上・精神科<br>同上・泌尿器科      | 橋本 信也・鈴木 啓司<br>前納 宏章・田中 弘久<br>持尾聡一郎・小林 敏子<br>堀田 正一・阿部 正和<br>中江 孝行<br>小路 良 | .....(96) |

9. ストレプトリジンOの薄層ポリアクリルアミドゲルによる等電電気泳動像  
—血球寒天重層法による溶血活性の検出— 麻布公衆衛生短大 鈴木 潤・小林 貞男..(97)
10. 新しいレクテン *Canavalia lineata* の免疫学的検討 都立豊島病院・検査科 佐藤 鷹人・平沢 妥子..(98)  
帝京大・医・第1内科 松田 重三
11. ロケット免疫電気泳動法による酵素定量法の問題点 山口大・医・第3内科 藤井 寿一・中島 弘二..(99)  
篠原 健次・三輪 史朗
12. ニグロシンによる免疫電気泳動像の新しい染色法とその基礎的研究 S R L 山田 敦子・梅田 敬子..(100)  
自治医大・臨床病理学 郡司 俊実  
日本商事(株) 浦田 郁之介・河合 忠  
武義
13. 段階的吸収式免疫電気泳動法 和歌山医大・神経研 上林雄史郎.....(101)
14. プラスミンによるヒトフィブリノゲンの初期分解産物に関する研究, 第1報  
—Fragment A の単離と性状— 自治医大・臨床病理学 高木 皇輝・河合 忠..(102)
15. 蛍光偏光解消法 (model IBF-129) によるCRP 定量の検討 帝京大・医・第1内科 松田 重三・風間 睦美..(103)  
安部 英
16. サル類の血清蛋白について 佐々木研 多賀 弘子・舟川 和子..(104)  
実中研 小山内たか・長瀬 すみ  
谷岡 功邦
17. 赤血球内ヌクレオチドおよび有機リン酸化合物の等速泳動による分離とその応用 埼玉医大・生化学 坂岸 良克.....(105)  
アムコ(株) 应用開発課 亀田 道子・箕輪 正和
18. 等速泳動によるペプチドの masked N-terminus の検出, 定量法 東京都立大・理・化学 真鍋 敬 笹川 立..(106)  
典生
19. 調製用等速電気泳動法に関する2, 3の知見 阪大・蛋白研・酵素反応学 戸田 年絵・鈴木 康生..(107)  
宮崎 香・堀尾 武一
20. ディスク泳動法による簡便な蛋白質の分子量測定を試み 山口大・医・生化学 高尾 明・中山 晴樹..(108)  
桑原 亮・竹尾 和典  
中村正二郎
21. Xanthine oxidase の zymogram への応用 愛知医大・第1内科 沢木 侖二・北川 道弘..(109)  
名大・医・検査技師学校 森川 訓行
22. ラット肝 arginase の等電電気泳動像, 第2報 昭和大・医・中央化学 飯島 武・佐藤 永雄..(110)
23. CK isoenzyme 分析における電気泳動法とカラムクロマトグラフィーの比較 昭和大・医・臨床病理学 尤 芳上・細谷純一郎..(111)  
石井 暢
24. 調製ディスク泳動法によるばれいしょフォスフォリラーゼの精製, 第3報  
—親和電気泳動法によるフォスフォリラーゼのD精製と2, 3の酵素の特性— 山口大・医・生化学 鈴野 亮輔・藤本 正憲..(112)  
中山 晴樹・緒方 幡典  
竹尾 和典・中村正二郎
25. 親和電気泳動法によるフォスフォリラーゼとグルコース・オリゴマーとの相互反応について 山口大・医・生化学 竹尾 和典・藤本 正憲..(113)  
鈴野 亮輔・桑原 亮  
緒方 幡典・中村正二郎
26. ポリアクリルアミドグラディエントゲル電気泳動法による癌性アルカリフォスファターゼ検出を試み 阪大・医・第1内科 益沢 学・鎌田 武信..(114)  
同上・遺伝学 佐子山 豈彦  
同上・第2外科 小川 道雄
27. ラット障碍肝組織及び血清のアルカリフォスファターゼアイソザイム 東京慈恵医大・荻原 正雄・今泉 忠芳..(115)  
第3分院・内科 衛藤 公治・堀口 正晴
28. 甲状腺機能異常時での alkaline phosphatase isoenzyme  
—特に蛍光法による検討について— 阪大・医・附属病院・中検 田中富美子・網野 信行..(116)  
畔 立子・林 長蔵  
神 戸 薬 大 宮井 潔  
高野 恵・渡辺富久子
29. 成長段階におけるインドヒラマキガイの  $\alpha$ -amylase isozyme 東京学芸大・生物学 井上 勤・伊藤 祥子..(117)
30. Analytical affinity electrophoresis による  $\alpha$ -amylase の研究 東京学芸大・生物学 井上 勤・新井 陽子..(118)
31. 東京都に在住する日本人の唾液アミラーゼアイソザイムの変異型とその遺伝 東京歯大・法歯学 日野原 博・水口 清..(119)  
自治医大・法医学 鈴木 和男  
池本 卯典

32. ポリアクリルアミドグラディエントゲル電気泳動法による人血清アミラーゼアイソザイムの検討  
阪大・医・第2外科 小川 道雄・神前 五郎..(120)  
同上・第1内科 益沢 学  
同上・遺 伝 学 佐子山豊彦
33. FITC標識抗L鎖血清によるM-成分L鎖型判定法に関する検討  
—所謂正常人への応用とL鎖型判定可能範囲の検討—  
岡山大・医・第2内科 藤田 峯治・杉山 元治..(121)  
国立岡山病院・内科 木村 郁郎  
瀬崎 達雄
34. 不完全分子と考えられるIgG( $\lambda$ )型M蛋白の性状について  
慶大・医・附属病院・ 大竹 皓子・堀井 康司..(122)  
中 検・臨 床 化 学 加野象次郎・菅野 剛史
35. IgG<sub>3</sub>( $\lambda$ )型多発性骨髄腫の1例とIgG<sub>3</sub>蛋白について  
新潟ガンセンター・生化学 小島 光恵.....(123)
36. 多彩な髄液免疫グロブリン異常を呈した化膿性髄膜炎の1例  
駿河台日大病院・検査科 松谷 牧子・小沢 憲治..(124)  
日 大・医・臨床病理学 佐藤 和身  
中野 栄二・河野 均也  
同上・小 児 科 土屋 俊夫  
益子 紀子・吉川 弓夫
37. 髄液中に認められたM蛋白の検討  
慶大・医・附属病院・ 堀井 康司・大竹 皓子..(125)  
中 検・臨 床 化 学 菅野 剛史
38. 妊娠時から泌乳期に至る間のマウス乳腺m-RNAの電気泳動パターンの変化  
杏林大・医・生化学 菅田 秀子・小峰 仙一..(126)  
安西 正
39. 3'-Me-DAB 肝癌モデルにおける胎児性蛋白および血清蛋白に関する研究, 第2報.  
— $\alpha_2$ -APを中心として—  
札幌医大・第1内科 小谷 俊一・小池 容史..(127)  
菅 充生・川原田 信  
坂本 真一・谷内 昭  
和田 武雄
40. 悪性疾患におけるCEA  
新潟ガンセンター・外科 加藤 清・赤井 貞彦..(128)
41. 悪性腫瘍, 糖尿病, 感染症における補体の比較検討  
神奈川県立成人病 餐場 弘道・森 智恵子..(129)  
センター・検 査 科 同 上・内 科 松崎 稔・塩田 善朗  
有田 禎二  
同 上・泌 尿 器 科 近藤猪一郎・公平 昭男  
同 上・第2放射線科 田中 利彦・嘉山 文子  
同 上・婦 人 科 長谷川温雄
42. 担癌ラット肝フェリチンの細胞内局在性の変化  
昭和大・医・生化学 牧野 義彰・鄭 一世..(130)  
鈴木 明子・紺野 邦夫
43. Ferritinに関する研究, 第16報  
—Ferritin蛋白のsubunitへの分解と再構成—  
札幌医大・癌研・内科 柴田 恵子・高後 裕..(131)  
大塚 忍・渡辺 直樹  
小関 純一・石谷 邦彦  
新津洋司郎・漆崎 一朗
44. Ferritinに関する研究, 第17報  
—IsoferritinのPHA刺激リンパ球幼若化現象に及ぼす影響について—  
札幌医大・癌研・内科 前口 邦彦・赤沢 修吾..(132)  
呉 慎吉・長井 忠則  
新津洋司郎・石谷 邦彦  
漆崎 一朗
45. ヒト胎盤アポフェリチン monomerの性状  
東大・医・病理学 酒井 亮二・田口 智也..(133)  
浅川 英男・森 亘
46. Affinity chromatographyによる精製したラット胃粘膜中のビタミンB<sub>12</sub>結合蛋白の性質について  
札幌医大・癌研・内科 福田 守道・中沢 修..(134)  
北海道教育大・家政学 山田 正二
47. 腎・尿路系病変を反映する各種尿蛋白成分について  
富山市民病院研究検査科 高柳 尹立.....(135)
48. Haptoglobinによるselectivityの簡易測定法について  
九大・医・第1内科 小川 皓.....(136)  
宮崎医大・医・第2内科 浅田 和矩
49. LDH アイソザイム正常値の検討, 第1報  
緒方医学化学研 佐藤 悦子・井上 太助..(137)  
都赤十字血液センター 相河 和夫  
野内 文夫
50. LDH isoenzyme anomalyの検討  
—末期癌患者にみられた1異型—  
昭和大・医・ 矢沢 正隆・高木智恵子..(138)  
附属病院・中 検 平沢 政人  
昭和大・医・臨 床 病理学 千住 紀  
石井 千住 石井 暢  
五味 邦英

51. 胸水中の IgG 結合 LDH の性状	新潟大・医・ 附属病院・中検	杉田 収・矢田 悦子..(139)
52. IgA との結合による LDH isozyme anomaly の症例	兵庫医大・附属病院・中検	神山 澄江・武田 啓..(140) 東川 幸代・戸沢 辰雄
53. IgA の結合性に関する検討 —Macroamylase complex について—	北里大・医・臨床病理学 同上・内科	大谷 英樹・坂口 和子..(141) 齋藤 正行 柴田 久雄
第27回電気泳動学会総会印象記	東京学芸大・生物学	井上 勤.....(143)